

鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合に関する説明会会議録

日時 令和6年12月22日（日）

午後2時～午後3時18分

場所 森山小学校 体育館

出席者数 25人

次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 説明
 - (1) 生徒数及び学級数の推移予測
 - (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言
 - (3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果
 - (4) 統合に関する方針
 - (5) 統合準備委員会の体制（案）
- 4 質疑応答
- 5 教育長あいさつ
- 6 閉会

会議の経過

事務局から説明	(1) 生徒数及び学級数の推移予測 本年度の鴨島東中学校の生徒数は、通常学級106人・特別支援学級14人の合計120人で、2年生が1クラスとなっている。 令和9年度には、すべての学年で1クラスとなる見込みであり、令和18年度には本年度の約半数の63人になる見込みである。 鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合の生徒数は、令和9年度では通常学級387人・特別支援学級42人の合計429人で、計13クラスになる見込みである。 両校が統合した場合、1学年3クラス以上を確保できる見込みであり、望ましい学級数を維持できると考えている。 (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言 検討委員会から「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとってより望ましい教育環境を早急に実現すること。」、また、「牛島小学校及び森山小学校は、直ちに学校再編の必要性はない。」との提言をいただいた。 また、統合に当たっての「留意事項」として、学校運営の円滑な移行に取り組むこと、できるだけ早期に方向性を示し統合すること、通学支援や通学路の安全対策についてのご意見をいただいた。
---------	---

(3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果

対象者437人中234人の方から回答があり、回答率53.5%、「統合に賛成」が51.3%、「統合に反対」が28.6%、「どちらともいえない」が20.1%となった。

「賛成」の理由は、生徒数を理由とするもの、「反対」の理由は、通学距離を理由とするもの、「どちらともいえない」の理由は、通学距離や通学支援を理由とするものが最も多い結果となった。

(4) 統合に関する方針

「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合する。」「統合の時期は、令和9年4月1日」、「統合校の位置は、現在の鴨島第一中学校の場所」との方針を決定した。

基本的事項について、「統合の時期」は、令和9年度にはすべての学年で1クラスになる見込みであること、統合の準備に2年は必要であることから令和9年4月1日とした。

「統合校の名称及び校舎」について、学校の名称は生徒及び保護者の意向を十分に踏まえる必要があることから、準備組織の中で協議する。また、校舎は鴨島第一中学校校舎を使用し、空き教室の改修で対応する予定である。

「通学区域」は、鴨島地区全域となる。

「通学への対応」は、通学の負担が著しく増える生徒に対しては、スクールバスを念頭に必要な支援を検討する。通学路の安全対策も学校の協力も得ながら必要な措置を講じる。

「統合に向けた交流活動」は、新しい環境へのストレスを少しでも緩和し、両校の生徒が学校生活を円滑に開始できるよう、統合までの2年間、様々な交流活動に取り組む。

「準備組織」は、準備組織を設置し、教育計画や通学体制等の必要な事項について協議する。

(5) 統合準備委員会の体制（案）

教育計画や通学支援などの統合に向けて必要な事項を協議する「統合準備委員会」を設置し、「総務部会」、「学校運営部会」、「通学部会」、「PTA部会」を設ける。

令和7年4月の設置を目途に、本年度中に各部会の人選や、具体的な協議事項の洗い出しを行う予定である。

【牛島小学校PTAからの質問事項に対する回答を紹介】

○JRや公共バスで通学する場合、公的な補助は受けられるか。

→利便性の観点から、スクールバスによる通学支援が望ましいと考えている。教育委員会としてもスクールバスの導入は、最優先事項と考えており、準備委員会においてできるだけ早期に詳細内容を決定し、車両や運転手確保の目処がたてば、前倒しの運行についても検討してまいりたい。

○部活動について、令和7年度より合同チームで実施することは可能であるか。

→統合前から合同・統一チームで活動することは、生徒同士の交流も深まり、メリットも大きいため、中学校体育連盟に要望する。

○令和6年度中に準備組織を設置し、令和7年度準備を丁寧に進めることは考えているか。

→教職員の人事異動やPTAの役員交代などを考慮し、令和7年4月に設置することを考えている。それまでに委員の人選や協議事項を洗い出し、4月からスムーズに準備委員会が運営できるよう努める。

○入学する中学校の選択は、いつまでに決める必要があるか。

※変更はいつまで受け付けてくれるか。

→締め切りは令和7年1月末日であるが、間に合わない場合は教育委員会へご相談ください。

○校区外申請について、申請理由を「令和9年度統合のため」として受理していただけるか。

→可能。また、変更基準には他の事由もあるため、それぞれのご家庭の事情に沿った内容で指定学校変更申立書を提出いただく場合もある。

○早期にスクールバスを配置してほしい。

→令和7年度に車両や運転手の確保まで完了させることは困難だが、できる限り早期に通学支援の内容を固め、導入準備を進めてまいりたい。

○準備組織を早期に設置し、令和7年度準備を丁寧に進めてほしい。

→令和7年4月に準備委員会を設置し、丁寧に準備を進めてまいりたい。

○現時点で、鴨島東中学校に入学する生徒の人数を速やかに共有してほしい。

→保護者の皆様の意向確認した上で、公表の判断をする。

○統合に際しては、クラス編成や小集団授業など、安心して学校生活を過ごせるようにしてほしい。

→生徒間の事前交流や教員の配置などに配慮しますが、その他の事項についても生徒や保護者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいりたい。

○部活動について、令和7年度より鴨島地区で一つの部として活動をし、大会への参加ができるようにしてほしい。

→中学校体育連盟へ要望していく。

○令和9年度については、鴨島東中学校の教員が、統合校に配属されるよう配慮してほしい。

→県教育委員会へ強く要望していく。

○早期に通学路の安全対策を進めてほしい。※街灯、交差点周り等の安全対策

→通学部会で通学路の安全対策を協議し、学校関係者だけでなく、道路管理者や警察の協力も得ながら、早期の対策を講じていく。

○中学3年生での統合は、受験があることや新たな人間関係を築くことなど多くの不安がある。早期に交流や協働活動を計画し、2年間で丁寧に進めてほしい。

→新しい環境によるストレスをできる限り緩和できるよう、ICTを活用した合同授業や行事の合同開催、部活動の合同チームなどの交流活動に取り組み、令和7年度から順次実施していく。

○制服のリユースを積極的に進めてほしい。制服等に関する補助を検討してほしい。
→統合時に制服や体操服の変更（購入）が必要となる生徒に対しては、リユースや購入支援を前向きに検討することとしている。

【以下質疑応答】

○元々鴨島第一中学校へ入学する予定の方は、統合に関するアンケートの対象から除外すべきでなかったか。

→アンケートを実施した時点では、中学校の進学先が確定していないため、牛島小学校及び森山小学校の全児童を対象とした。

○回答率が53.5%のため、改めてアンケートを実施し、より多くの方に回答してもらっては。

→統合後に中学生となる小学校高学年については、7割を超える方に回答いただいている。

○アンケートが統合方針の意思決定にどの程度影響を及ぼしたのか。

→昨年度実施した説明会やアンケート、また、それらを踏まえたあり方検討委員会での議論を含め、総合的に判断して方針決定に至ったため、最後のアンケート結果のみをもって意思決定したものではない。

○令和9年からの統合は急に決まったように思うが、小学校も急に統合という話になるのか。

→小学校については、まだ何も決まっていない。

○少子化の状況もできると思うので、小学校も今後早めに検討してもらいたい。

→ここ数年予測を上回る出生数の減少が続いているが、それらも見極めながら、小学校のあり方についても早め早めの対応をしていきたい。

○移行期間の子どもたちへの配慮はあるのか。

→一番大事にしないといけないのは、生徒間の交流であるため、スムーズな移行に向けて、できる限り様々な交流事業に取り組んでまいりたい。

○制服はどうなるのか。

→新しい制服にしてはどうかというご意見もあるが、生徒や保護者の皆さんの意向を伺う必要があるため、準備委員会の中で検討することとしている。途中で制服が変わることとなる生徒の皆さんについては、何らかの支援が必要と考えている。支援の内容についても早めに詳細を詰めてご案内したい。

○部活動をされている生徒への通学支援はあるのか。

→山川中学校の例で申し上げますと、下校時は、早い便と遅い便の2便体制で運行している。鴨島東中学校の通学支援については、ニーズ調査等を行った上で必要台数等の詳細を詰めていく。

○山川中学校のスクールバスについて、美郷地区の生徒はどこか1カ所に集まってい

るのか。

→美郷地区の中で複数の停留所がある。

○中学校の名称は変えるのか。

→皆さんの意向を伺った上でどうするのか決めていく。

○鴨島東中学校の跡地は今後どのように考えているか。

→準備委員会の中で跡地利用について協議していく。

○保護者の交流は考えているか。

→準備委員会には、PTAの方にも参加いただくため、その中で意見をいただき保護者同士の交流も検討していく。また、準備委員会の中の学校運営部会とPTA部会が密接に連携しながら、学校行事や交流活動についても保護者の方と情報共有を進めていくこととしている。

○準備委員会で決定された事項についての説明会はあるのか。

→ホームページやマチコミメールなどでその都度お知らせしていく。また、PTA役員の方にも委員として参加いただく予定なので、役員の方を通じてお知らせいただくこともできる。

○参加できていない方へ今日の内容をお知らせしてほしい。

→できるだけ早く取りまとめ周知したい。

○通学支援はどこからが対象となるのか。

→通学部会で協議することとしているため、現時点では決まっていない。

○現在の小学5年生が鴨島東中学校へ進学する割合を教えてください。

→次年度、保護者の皆さんの了解を得た上でお知らせしたい。

○子どもたちは統合のことを知っているのか。

→現在は、保護者の方を通じてのお知らせとなっている。児童への周知方法については、学校とも相談の上対応する。

○一中になじめない生徒へのケアや対策は考えているのか。

→そうならないように早めの対応が重要と考えている。仮に、そのような状況になった場合は、保護者の方とも相談したうえで対応するようになると考えている。

○一中になじめない生徒が川島中学校へ通学する場合は、通学支援は考えているか。

→現時点では、具体を申し上げることが難しい。